

海外における車輪脱落事故の実態調査について

令和4年6月

国土交通省自動車局

海外調査結果概要

■ 大型車の車輪脱落事故に関して、欧米など12カ国※の調査を実施。

※(右側通行)フランス、ドイツ、オランダ、フィンランド、スウェーデン、スイス、ベルギー、米国及びカナダ
(左側通行)英国、オーストラリア、ニュージーランド 12カ国全ての国でホイールの締め付け方式はISO方式を採用

■ 調査結果によると、各国に統計データはなく、事故要因としてタイヤ脱着作業や保守管理に問題があると考えられ、防止対策として正しい作業の普及啓発に取り組んでいる。

○統計データ

- ・各国において、車輪脱落事故についての体系的な統計データはない。
- ・英国では2000年前後にサンプリング調査等を実施。その結果によると、ホイール・ナットが緩む(脱落含む)のは、左側の車輪で56%、右側で44%とあまり差はない一方、車輪の脱落が起きる傾向は左側で79%、右側で21%と差が大きい。

○事故要因

- ・適切な箇所への潤滑油の塗布が不十分、表面の汚れも珍しくない。
- ・基準に適合した部品が使用されていない。
- ・増し締めを実施していない。
- ・冬は低温により毎日の点検等が困難となっている可能性。

○対策

- ・車輪脱着作業、保守管理作業の正しい手法に関する啓発活動。

例:車輪固定部品の損傷の確認、潤滑剤の適切な箇所への塗布、正しく校正されたトルクレンチの使用、メーカーの推奨トルク・締付手順の順守(増し締めなど)